

市民とつながる

議会だより いちのせき

No.79 2024.11.1

CONTENTS

9月通常会議

- 話し合ったことズームアップ（議案審議）…… 4
- 一般質問 …………… 8

「巻頭特集」 語ろう市議会×
一関市消防団なのはな隊



一関市消防団

「なのはな隊」 × 市議会

女性消防団員の有志で組織する一関市消防団「なのはな隊」で消防団活動に取り組んでいる高橋涼子さん、高橋飛鳥さん、永澤千佳さんに、女性消防団員ならではの活動内容や市議会に期待することなどを聞きました。



副隊長 高橋 飛鳥さん (42) HASHI ASUKA
花泉地域本部
息子が高校3年生なので、最後の部活動の追っかけをしています。

隊長 高橋 涼子さん (47) HASHI RYOKO
東山地域本部
去年から書道を始めました。地元の先生に月2回、楽しみながら教わっています。

隊員 永澤 千佳さん (48) GASAWA CHIKA
一関第2分団第3部
オフには韓国ドラマを見たり旅行に行ったりしています。

地域を守る活動を 私たちもできる範囲で

高橋隊長 消防団幹部候補中央特別研修に参加した際、全国の女性消防団員がさまざまな活動をしているのを知り、とても刺激を受けました。前消防団長から「女性団員だけで何かやってみては」と声をかけられ、なのはな隊を結成しました。



— なのはな隊ではどんな活動をしていますか。
高橋隊長 防火・防災や応急手当てに関する広報や指導、消防団行事での進行補助などを行っています。今

は防災クッキングの実演なども行っています。
高橋副隊長 子供たち向けには、カスリン・アイコン台風を題材にした紙芝居をして、防災教育などの活動も行っています。
— 活動を通じて感じていることは。
高橋隊長 みんなで楽しく活動させていただいていることを、とてもありがたいと思いますし、協力し合え

るということは素晴らしいと感じています。これもいろいろな方の支えがあつての活動であり、特に家族の理解と協力の下に成り立っています。
— なのはな隊の課題はありますか。
高橋隊長 隊員が増えてほしいのですが、「なのはな隊って忙しいんですよ」と思われがちところが課題です。
高橋副隊長 参加できるときだけ、参加すればいいという活動方針です。

一関市消防団の活動と現状

消防団の活動
消防団は普段は会社員や自営業、学生として仕事や学業をする傍ら、火災、大雨、地震などの災害発生時には、いち早く現場に駆け付け、消火活動や避難の誘導、行方不明者の捜索などに当たります。また、災害に備えた訓練や防火、防災、広報などの活動も行います。



団員数の推移
減少傾向にあり、定数の2,500人を下回る状況にあります。女性団員は全体の2.0%となっています。

	H24	H27	H30	R3	R6
団員数	2,827	2,764	2,635	2,415	2,202
うち女性	36	42	41	48	45



2024年市消防出初式で、まとい振りを披露する団員
全国女性消防団員活性化とちぎ大会に出展した「なのはな隊ブース」(9月19日)

— これからやってみたいことは。
永澤隊員 情報発信をもっとやっていきたいです。例えば千葉県浦安市の女性消防団はすごく活気があると聞きます。インスタグラムをやっている、今日はこのメンバーでこんな活動をしましたというような情報



一関市消防団「なのはな隊」
平成24年5月に結成。女性消防団員のうち入隊を希望する者で構成。現在13名が所属。防火、防災、応急手当ての指導に関する活動などを実施。

— 消防団に入ったきっかけは。
高橋隊長 初めは婦人消防協力隊に入りましたが、隊を辞める際に、当時の東山町消防団長から消防団に入らないかと誘われ、入団しました。
永澤隊員 息子が学生時代にサッカーをやっていたのですが、試合で倒れたりしたときのために応急手当てを覚えようと考え、消防団に飛び込みました。
高橋副隊長 義母が婦人消防協力隊員として活動していたので、消防団は身近に感じていました。ラッパ隊への誘いがあり、ラッパの経験があつたので入りました。
— なのはな隊を結成した経緯は。



を常に発信されています。
高橋副隊長 市内全ての中学校や高校で救命講習をやるのができたらいいと思います。
— 市議会に期待することは。
高橋隊長 学生や若者が市政に関心を持ち、参加したいと思わせる市議会、市民の声が届き市政に反映される市議会、今何をしているのか、将来何を指しているのかが市民に伝わる市議会であってほしいと思います。
永澤隊員 子供たちから「ずっと一関に住み続けたい」と言われる市になってほしい。そういう市にするための議論をしてほしいです。

取材を終えて

安全・安心な地域にするためには、消防団員の確保が必要です。「なのはな隊では10代、20代の団員も活躍している。消防団に興味を持ってほしいし、団員も増えてもらいたい」というなのはな隊の皆さんの思いを受け、議会でも団員確保や災害対策へのさらなる議論が必要と感じました。



門馬委員 菅原委員

(広聴広報委員 門馬功、菅原行彦)

可決

*議案第54号 一関市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

グループホームやまばとを廃止

一関市病院事業経営強化プランに基づき、藤沢町藤沢地内のグループホームやまばと（平成15年1月事業開始、入所定員9名）を、令和6年10月末で廃止することに伴い、条例から削除しました。

> 請願

不採択

*請願第3号 現行の健康保険証をのこすことを求める請願

一関民主商工会から提出された現行の健康保険証を残すよう国への意見書提出を求める請願です。

採択

*請願第4号 違法盛土農地が現状に至った原因と経過について、徹底究明を求めることについての請願書

盛り土農地問題の徹底究明を

石灰の砂や石で盛り土したことで、耕作に適した表土がない、または表土層が薄い盛り土農地が市内4地域で確認され、農地法などに違反している問題について、現状に至った原因と経過の徹底究明を行うよう求める請願です。

請願の審査は、農地現状変更等に関する調査特別委員会が行いました。同特別委に参考人として出席した請願者から「最初に盛り土工事の届け出が（農業委員会に）あったとき、もう少し慎重に調査するなり、国に相談するなどして、適切な判断ができなかったのか」との発言がありました。

9月13日の本会議で、同特別委の千葉幸男委員長からの審査終了報告を受け、請願を全会一致で採択し、市および市農業委員会へ送付しました。議会でも、同特別委が引き続き調査を行います。

特別委員会 委員長報告

「当特別委員会も原因の調査を旨として設置されたものであり、請願者の願意と一致している」との意見があり、満場採択すべきものと決した。

表決が分かれた案件

- *認定第1号 令和5年度一般会計歳入歳出決算
- *認定第2号 令和5年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- *認定第3号 令和5年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

会派	清和会				一関みらい				輝郷会				日本共産党 一関市議団		公	無	決議結果										
	佐藤浩	那須勇	佐々木久助	菅原行奈	門馬功	小山雄幸	千田恭平	沼倉憲二	千葉大作	佐藤幸淑	岩淵典仁	永澤由利	佐藤敬一郎	小野寺道雄				猪股晃	千葉信吉	千葉幸男	岡田とみ	佐藤真由美	千葉栄生	齋藤禎弘	岩淵優	小岩寿一	武田ユキ子
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第54号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第3号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

○=賛成 ×=反対 ※公=一関市議会公明党、無=無会派

9月通常会議で話し合ったこと

ズームアップ

令和6年定例会第113回9月通常会議
9月3日～26日/会議期間24日間

会議では報告11件のほか、令和5年度決算12件を認定し、議案43件を原案通り可決しました。

> 補正予算

可決

*議案第87号 令和6年度一般会計補正予算（第5号）

*議案第88号 令和6年度一般会計補正予算（第6号）

中里市民センター修正設計費に3,110万円

第5号補正では、0歳児を育てる世帯を対象に、紙おむつを無料で配達し、配達時に育児相談や支援ニーズの確認などを行う見守り訪問事業費（298万円）を計上しました。令和6年度は10月から事業開始です。

第6号補正では、中里市民センターの建設工事に係る修正設計費（3,110万円）を計上しました。現在の設計では施工が困難な箇所が複数あり工事の継続が難しいことから、設計を見直します。

補正予算議案の撤回（取り下げ）

「違法盛土農地が現状に至った原因と経過について、徹底究明を求めることについての請願書」を9月13日に議会で採択したことから、市長の請求に基づき、中山間地域等直接支払交付金を返還する予算議案が取り下げとなりました。

こんな疑問がありました

- Q. 乳児見守り訪問事業では、どのような人が家庭訪問を行うのか。
- A. 子育て経験のある女性スタッフが訪問し、子育ての悩みがないかなどを聞き取りする。

こんな疑問がありました

- Q. 中里市民センターの施工困難な箇所の内容は。
- A. 今の設計では、柱や梁の鉄筋量が多く、コンクリートの打ち込みが困難であることや、鉄筋相互の適切な空き寸法が確保できない箇所があるため設計を修正するもの。

> 条例の改正

可決

*議案第50号 特別職の給与に関する条例の一部改正

相次ぐ不祥事・職員逮捕 市長と副市長の給料を減額

市内4地域で確認された石灰砂れきなどで覆われた盛り土農地が、農地法などに違反する判断を当初段階から市として明確に示すことができなかったことに加え、職員の酒気帯び運転、官製談合防止法違反での職員逮捕など、相次ぐ不祥事を受け、10月分の給料を市長は100%減額、副市長は30%減額するものです。

可決

*議案第53号 地域資源活用総合交流促進施設条例の一部改正

「道の駅だいたう」オープンは来年4月へ

大東町渋民地内に整備中の地域資源活用総合交流促進施設（愛称：道の駅だいたう）は、令和6年10月の利用開始としていましたが、資材発注の誤りや設計に関わった職員の逮捕などによる工期延長により、令和7年4月に変更しました。



来春オープン予定の道の駅だいたう

総括質疑



議長と議会選出の監査委員を除く全23名の議員で構成する「決算審査特別委員会」を9月3日に設置し、9月24日まで集中的に審査を行いました。9月13日と17日には、総括質疑を行い、令和5年度に実施したさまざまな事業について、14名の委員が質疑しました。主な内容を紹介いたします。

R5新規事業 自治体DX推進事業費 (決算額2,265万円)

Q1 | 窓口書類作成システム(書かない窓口)の導入効果は?

A1 | 窓口書類作成システムは、マイナンバーカードや運転免許証などに記載されている住所、氏名、生年月日をカメラで読み取り、申請書などに自動的に転記するシステムである。システム導入前は、各種手続きのため何度も住所、氏名、生年月日を記入する必要があったが、導入後は記入する必要がなくなり、窓口での申請者の負担軽減につながっている。令和5年度は4,802件のシステム利用があり、6,950枚の書類を作成した。



R5新規事業 森林経営管理事業費 (決算額5,931万円)

Q3 | 森林資源航空レーザ計測と解析したデータの活用状況、成果は?

A3 | 令和5年度は大原、興田、猿沢の区域でレーザ計測を行い、高い精度での森林情報を得ることができた。把握した森林情報について、森林所有者には所有林の経営管理の検討材料として、林業経営体には森林経営計画の策定や間伐などの森林整備事業を効率化するための資料として活用することとしている。



ふるさと応援寄附推進事業 (決算額8億7,909万円)

Q2 | ふるさと応援寄付による地元(市内)への効果は?

A2 | ふるさと納税のポータルサイトを通じ、当市の特産品や加工品などを全国に発信することは、当市の魅力を多くの人にPRする機会となっている。また、特産品や加工品が返礼品として選ばれることで、地域経済の好循環が生まれている。さらに、頂いた寄付金は市のふるさと応援基金に積み立て、毎年度、市の事業の財源として活用することで市の財政面でも好循環につながっている。

令和5年度歳入歳出決算額

会計	歳入	歳出
一般会計 (認定第1号)	783億5,847万円	741億2,269万円
国民健康保険・事業勘定 (認定第2号)	121億7,624万円	119億1,569万円
国民健康保険・直診勘定 (認定第2号)	5億842万円	5億834万円
後期高齢者医療 (認定第3号)	14億3,452万円	14億3,176万円
都市施設等管理 (認定第4号)	1億1,253万円	1億342万円
工業団地整備事業 (認定第5号)	6億5,408万円	6億3,102万円
市営バス事業 (認定第6号)	2億1,014万円	2億1,014万円
浄化槽事業 (認定第7号)	6,767万円	6,757万円
物品調達 (認定第8号)	442万円	442万円

左記の他に、水道事業会計決算(認定第9号)、工業用水道事業会計決算(認定第10号)、下水道事業会計決算(認定第11号)、病院事業会計決算(認定第12号)も審査しました。

R5最終事業 生活用水確保(深井戸設置等)支援事業費(決算額4億3,481万円)

Q5 | 水質検査支援事業の実績、施設整備の対象世帯数と事業費は?

A5 | 水質検査支援事業は、令和元年度から令和3年度までの3年間の事業として実施した。事業の対象として見込んだ2,621世帯のうち、1,545世帯が検査を行った(実施率58.9%)。施設整備事業(深井戸設置等への補助)については、令和元年度から令和5年度までの5年間で878世帯が実施した(当初事業対象として見込んだのは834世帯)。事業費の総額は16億5,000万円となった。



R5拡充事業 バス等運行事業費補助金(決算額9,215万円)

Q4 | デマンド型乗合タクシーに対する利用者からの意見、要望は?

A4 | 「便数を増やしてほしい」「土日・祝日も運行してほしい」「事前の予約が面倒」「運行の直前まで受け付けしてほしい」など、運行時刻や利用のしやすさについて意見や要望がある。これまでも乗降場所を追加したり、運行時間を変更したりするなど利便性の向上を図ってきたが、今後も運行事業者と協議の上、利便性の向上に努めていきたい。



R5新規事業 生活道路整備地域支援補助金(私道整備への補助)(決算額385万円)

Q7 | 事業の成果と課題は?

A7 | 令和5年度は一関地域で3件、花泉地域で2件、この補助事業を活用した私道整備が行われた。うち4件がアスファルト舗装工事、1件が側溝工事とアスファルト舗装工事であった。長年地域の課題となっていた生活道路として使用されている私道の整備が、補助制度の導入により実施され、地域の生活環境の向上が図られた。なお、補助制度が創設されて間もないため、住民への周知が図られていないことが課題として挙げられる。

R5拡充事業 企業誘致推進事業費(決算額421万円)

Q6 | 誘致活動で訪問した企業の業種は?

A6 | 令和5年度に誘致活動で企業訪問した市外企業の業種は、金属製品製造や電気・電子・機械製品製造などの製造業のほか、情報通信サービス業やシステム開発、ITソフトウェア開発といった非製造業も対象として訪問した。企業訪問に当たっては、製造業を中心に一関東第二工業団地を紹介し、非製造業には学校跡地となった用地や仮称・一関インター西産業用地をPRするなどしている。

決算に対する

賛成討論

全会計の決算認定に賛成(菅原行奈議員)市長は、人口減少が最大重点の課題であるとの認識の下、「稼ぐ場を増やす 稼ぐ力を高める」、「人が輝く人を育てる」ことよって「地域の活力を高める」とし、後期計画の達成に向けさまざまな成果を上げられたものと評価する。

反対討論

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定に反対(佐藤真由美議員)エネルギー価格や物価の高騰による、市民生活は大変厳しい状況が続いている。畜産業者や小規模農家への補助制度の拡充、中小企業者に対する市独自の支援、子育て世代の負担軽減に早急に取り組むことなどが必要である。

全ての決算を認定



齋藤 禎弘 議員
さいとう よしひろ



自宅からの田園風景

***2 官製談合、なぜ**

Q 現職の職員が逮捕された官製談合では、業者から職員への見返りがなかったようだが、市の認識は。

A 新たに職員倫理規程を定め、市民からの疑念や不信を招く行為の防止を図る。

Q 西部第二学校給食センター地震災害復旧（機械設備）の入札の1回目が不調だったが、早急に工事を終わらせなければならないというプレッシャーが職員にかかったのでは。

A 早期に終わらせなければならないという、使命感はあったかもしれない。

Q 市の体制に問題はないのか。

A 必要な人員を配置しており、体制の不備という認識はない。



官製談合が行われた西部第二学校給食センター

その他のQ&A

- 農地の違反転用
- 放課後児童クラブ



千葉 信吉 議員
ちば のぶよし



須川岳(栗駒山)頂上の紅葉

地域公共交通の維持・継続の取り組み

Q 地域住民の意向を取り入れ、地域の特性を生かした無駄のない効率的な地域公共交通の在り方を検討する中、使い勝手の良い持続可能な地域公共交通の維持・継続に向けた取り組みの考えは。

A 市では、市営バスの利用者が少ない、バスの利便性が低く効率的ではないと認められる場合、**デマンド型乗合タクシー**に再編するなどの取り組みを進めてきた。これらを踏まえ、利用者ニーズに応じた運行内容の見直し、新たな移動サービスの導入可能性について検討するなど、引き続き他の自治体の先進事例や地域の課題を把握するとともに、関係するさまざまな主体と連携し、持続可能な地域公共交通の維持に向けた取り組みを進めていく。



花泉地域のデマンド型乗合タクシー

その他のQ&A

- 有害鳥獣被害対策



永澤 由利 議員
ながさわ ゆり



大船渡線の北上川鉄橋

学区外就学の許可事由の見直し

Q 学区外就学について、市では9項目の許可事由がある。若手県内の他市では働く保護者が子育てをしやすく、また、子供の特性を重視して変化してきている。安心して子育てができる市であり、子供が部活動などでやりたい自分になれる、目標が持てる子育て環境が望ましいと思うが、見解は。

A 通学区域は、地域の学校、地区の学校というまとまりの意識を大切にしながら、地域の実態を踏まえて定めている。学区外就学については、保護者が希望する場合、やむを得ない理由があると認められた場合に限り許可している。引き続き現在の許可事由により運用していく。



安心して子育てできる教育環境の見直しに期待

その他のQ&A

- 医療的ケア児保育支援の状況
- (医療的ケア児) 資格研修受講支援
- 繁殖牛生産者の支援
- 酪農家支援



門馬 功 議員
もんま いさお



大東町大原の滑岩渓流

日本語学校の誘致推進

Q 日本語学校の誘致推進のため、設置に係る支援を行うとしているが、その概要を伺う。

A ベトナムを訪問した際、外国人が日本で就労する場合、一番のハードルは日本語にあると感じて、当市の外国人市民等支援の有効な手法の一つとして日本語を習得できる学校の存在が重要と考えた。日本語学校の形態については現在検討段階だが、現実には民間による設置運営が大半となっている。留学生は卒業後に進学するか、就職するかにより日本語の習得レベルが異なることから、現地で留学生を募集する時点から、進路を想定する必要があると思っている。



日本語の授業風景

その他のQ&A

- 育成就労制度の概要
- 市産材の利用促進
- 森林整備の担い手確保と育成
- 森林環境譲与税の使途



第113回 9月通常会議

一般質問

一般質問は9月5、6、9日の3日間で15人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。(文責は各議員)

登壇議員	ページ	登壇議員	ページ
門馬 功 議員	8	小岩 寿一 議員	11
永澤 由利 議員	9	沼倉 憲二 議員	11
千葉 信吉 議員	9	佐藤敬一郎 議員	12
齋藤 禎弘 議員	9	岡田もとみ 議員	12
岩淵 優 議員	10	那須 勇 議員	12
千田 恭平 議員	10	佐藤真由美 議員	13
岩淵 典仁 議員	10	菅原 行奈 議員	13
千葉 栄生 議員	11		

議員の素顔をお見せします #ひとこと

今回のテーマは… #市内のおすすめスポットは？

傍聴席から 一般質問を傍聴した議会モニターからの意見(一部)を紹介します。

実現可能な提案をより深く、多くできるような議員の発言を望みます。

「一問一答・一提案方式」を採用してはどうでしょうか。議員の積極的な質問にもつながり、かつ答弁する関係部長の問題意識・取り組み意識の喚起にもつながると思います。

決まりきった一般質問や答弁ではなく、もっと前向きな話し合い、議会であってほしいと望みます。

(議員全員ではないが) 事前学習、事前研究などの準備不足からか、再質問以降は議論がトーンダウンしている印象です。

***2 官製談合**
国や地方自治体などによる事業発注時の入札において、発注側の公務員が予定価格を漏えいするなどして、不公平形で落札業者が決まる仕組み。

***1 デマンド型乗合タクシー**
あらかじめ定めたルートや時間を、予約がある場合に運行するタクシーで、一つの便に複数の予約者がいる場合は乗り合いでの利用となる。

二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の様子をご覧いただけます!



単語帳
用語のひとこと解説コーナーです

沼倉 憲二 議員
ぬまくら けんじ
大籠キリシタン殉教公園

農地管理の市・市農委の役割

Q 盛り土（白い）農地発生の市・市農業委員会の責任は。

A 市長：当初段階で適切な判断ができなかったことがこの事態を招いたと責任を感じている。

市農委員長：届け出を受理し、完成後の指導などが行われなかったことが原因で、

責任は大きいと感じている。



盛土（白い）農地

Q 国・県への返還金は、市・市農委、集落協定、関係業者で責任を分担し、返還すべきではないか。

A *6 実施要綱では違反した集落協定が返還することになっている。責任の所在は現在調査中である。

Q 病院事業の将来展望は。

A 人口減少や医療スタッフ不足など厳しい経営環境であるが、経営形態の見直しを検討し、持続可能な運営を目指す計画である。

その他のQ&A

○増加する不登校児童生徒対策

小岩 寿一 議員
こいわ ひさかず
厳美溪沿いの桜並木

釣山公園の草木管理を

Q 釣山公園の草木が伸びて大変な状況になっていると地域住民から相談を受けた。管理はどのようになっているのか。

A 釣山公園の清掃、草木の管理は外部委託しており、令和6年度は市シルバー人材センターへ業務委託している。市シルバー人材センター*5で除去することができない木や蜂の巣などは、別途他の専門業者に委託するなどして、適正に管理を行っている。公園の敷地から私有地(民地)へ草木が伸びているような場合は、市が除草を行うことから市に連絡を頂きたい。今後も公園内の草木が他の土地まで伸びないように、できるだけ注意を図り適切な管理を行いたい。



市民の憩いの場となっている釣山公園

その他のQ&A

○キャッチアップ接種対象者への周知方法

千葉 栄生 議員
ちば えいき
自宅庭から見る室根山

住宅リフォーム補助拡充を

Q 住宅環境改善リフォーム補助事業は、活用度が高く令和6年度は申請受け付けから約2カ月で予算に達し終了していることから、事業の継続を求める声が多く寄せられている。年々気温が高くなり熱中症が命の危機ともいえる状況にあることから、今年度予算を補正予算により増額する考えはあるか。また、エアコン設置を対象経費に追加する考えはあるか。

A 予算額に達するまでの期間やその後の問い合わせの状況から適正な規模と認識している。エアコン設置については、家電製品の購入に当たることから補助対象にすることは難しいが、暑さ対策の観点から住宅性能の向上を図ることについては検討していきたい。



補助金を活用した住宅リフォーム

その他のQ&A

○灯油購入費などの支援策を
○避難所運用と環境整備の拡充を

岩淵 典仁 議員
いわぶち のりひさ
室根山山頂

小・中学校の適正規模・適正配置

Q 国は、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいとして、学校規模の適正化について、小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」を標準としている。当市においても、地域の実情に応じた最適な学校教育の在り方や学校規模を検討する必要がある。小・中学校の適正規模・適正配置は。

A 平成19年11月の市学校通学区域調整審議会の答申にある旧市町村単位8地域を基本とする。複式学級の解消を基本に取り組む。1学年二つ以上の学級編成が望ましい。児童・生徒の通学に十分な配慮を行う。保護者や地域住民の理解など、協力を得て合意形成を図りながら進める。以上に基づき学校統合を進めてきた。



SDGsの目標「3」「4」

その他のQ&A

○健康づくり政策
○健康ポイント事業
○「健康都市宣言」

千田 恭平 議員
ちだ きょうへい
メダカ泳ぎ蛸舞う水辺

NEC跡地はどう利用する

Q NEC跡地の利活用を検討するための専門家4人からなる「構想検討委員会」からの中間報告はいつごろ出るのか。

A 現在話し合いが続けられており、半導体関係、農業関係、医療関係など複数の案は、どれも市にとって期待が持てる分野で、検討に時間をかけたいので、当初9月報告予定のスケジュールはいったん見送りたい。

JR一ノ関駅東口のNEC跡地

Q 12月2日から現在の健康保険証が新たに発行されなくなり、「マイナ保険証」に移行するが、マイナンバーカードを持っていない人への対応は。

A 健康保険証の代わりにとなる資格確認書を申請不要で12月2日以降に交付予定で、従来と変わらず受診が可能である。

その他のQ&A

○一ノ関駅の東西自由通路
○市長のオーストラリア出張
○市の情報発信体制
○閉校校舎の利用状況

岩淵 優 議員
いわぶち まさる
産直さんさん道のわき

閉校した学校の活用状況は

Q 市内の閉校した学校は、小学校37校、中学校7校あり、これらを産業用地として活用しているが、企業などの誘致活動の状況について伺う。

A 文部科学省が進めている「～未来につなごう～『みんなの廃校』プロジェクト」のホームページへの掲載、マッチングイベントへの参加、JR一ノ関駅東口通路にパネル掲示などを行っている。企業などからの問い合わせに対し、現地案内やオンライン会議などで交渉している。問い合わせは数件受けている。これまでの企業誘致活動に加え、台湾*3などの海外や加速器関連企業への誘致活動も始めた。新たな視点での取り組みを強化していく。



利活用が待たれる閉校した校舎

その他のQ&A

○有機フッ素化合物の調査
○RSウイルス感染症ワクチン接種
○地域計画策定の進捗状況

***6 集落協定**
農業生産条件の不利な中山間地域などにおいて、農用地を維持・管理していくための取り決めを締結した集落などの団体。

***5 シルバー人材センター**
豊富な知識・経験・技能を持つシルバー世代の会員に、臨時的かつ短期的、または軽易で高齢者に向けた安全な仕事を紹介する法人。

***4 マイナ保険証**
マイナンバーカードを自身の健康保険証として利用し、保険医療機関において保険資格確認を可能とするもの。

***3 加速器**
電子や陽子などの粒子を光の速度近くまで加速して高いエネルギーの状態を作り出す装置。医療や新素材開発などに実用される。

一 関 市議会短信

大学生×高校生×議員のワークショップ開催

9月30日に岩手大学教育学部の企画により、一関第一高校、大東高校の2校を会場に、大学生と高校生、市議会議員による懇談会を開催しました。「私たちの声で社会を変える」をテーマに、参加者がまちの課題と課題解決に向けたアイデアや意見を交わしました。最後に高校生が各グループで模擬請願書を作成し、会場全体で共有しました。



一関一高でのワークショップ

市議会公式YouTubeチャンネルを開設

より多くの人に市議会の情報や活動内容を伝え、市議会に興味・関心を持ってもらうため、8月に一関市議会公式YouTubeチャンネルを開設しました。

当面は試験的な運用という位置付けで、定期的に行っている議員間の情報共有会議（各委員会などの活動報告）の様子を録画配信していきます。

皆さまのチャンネル登録をお願いします。



一 般 質 問

菅原行奈 議員
すがわら あんな
唐梅館総合公園、体育館

農業振興(農地・担い手不足)

Q 今後農地を守ることに課題に、どのように向き合っていくのか。

A 農地中間管理機構を通じた担い手への農地の集積のほか、農業の中止・縮小を検討している農家情報に関係機関や団体と共有し、新規就農希望者や規模拡大を検討している農業者とのマッチングを図っている。農業生産効率化と担い手への農地集積を促進し、地域農業の在り方、農地利用の方向性などを明確化するため、地域農業経営基盤強化促進計画策定に取り組んでいる。

Q 白い農地問題は、本来は夢と希望であるべき農業の担い手不足から来ているのではないか。

A 今、日本農業の転換点。一関の農業も自立してやっていく視点がほしいと考えている。



中山間地域、今後農地は守られるのか

その他のQ&A

犬猫の保護について



佐藤真由美 議員
さとう まゆみ
興田・小森の豊石

石灰業者の業者責任は

Q 中山間地域等直接支払い交付金の返還について、業者などの調査結果が出ない中、集落協定代表者に返還を求めるのは誤りではないか。集落のコミュニティが崩壊しかねない。まずは農業後継者もいなくなる。石灰業者の石灰砂れきは廃棄物に当たり、市との公害防止(環境保全)協定違反に当たるのではないか。また、鉱山保安法施行規則11条にも抵触しているのではないか。

A 市と石灰業者との環境保全協定は、事業者が取るべき措置について、相互の合意により締結している。協定書の中で砂れきの項目はない。また、鉱山保安法施行規則11条は鉱業権者が講ずべき措置を規定しており、今般の第三者への譲渡は違反には当たらない。



議員による盛り土農地の現地調査

その他のQ&A

- 新型コロナウイルス感染症対策強化を
带状疱疹予防接種の助成対象年齢引き下げと助成額の引き上げを



那須 勇 議員
なす いさむ
晩秋の室蓬讓水の里

市立図書館運営の充実を

Q 市内にある八つの図書館の蔵書数は百万冊を超え、同規模自治体では全国第1位である。図書館の蔵書数の維持、本の更新によって図書館機能をより充実させ魅力ある図書館にするため、安定した図書購入の財源となる基金の創設を検討する考えはないか。

A 計画的に新しい図書を購入していくことは必要であり、蔵書に新たな本を更新していくことで図書館の魅力が保てるように努力している。安定した図書購入の財源確保のため基金の創設については、県内でも設置している自治体があることから、その利点や基金創設の財源、手順についての事例を参考に情報収集していきたい。



1世紀を超えて成長する市立図書館

その他のQ&A

- 統合後の学校と地域の連携
学校プールの現状と管理体制



岡田もとみ 議員
おかだ もとみ
映画館一関シネプラザ

有機農業の促進と支援強化

Q 農薬の使用が、発達障がいなどの増加に関連していると指摘されている。農薬の使用による影響は。

A 人体や自然環境への影響が少ないとされてきた農薬成分でも、近年の調査では河川などで検出されたことから情報収集しなければならない。

Q 有機農業を広げるために、生業の支援強化と家庭菜園への補助事業を行う考えは。

A 実施計画の目標達成に向け、生業に対して支援する。家庭菜園などの育成を図り、有機農業に取り組む農業者が増えるよう支援したい。

一関地方有機農業推進協議会と議員の意見交換会



Q 小さな子供たちにも安全な食事を提供するため、保育園などへ提供する考えは。

A 食材の価格状況を見ながら、さまざまな行事食などで部分的に導入するよう検討したい。

その他のQ&A

- 不登校児童生徒の学びの場の確保と財政支援を
教職員の長時間勤務の改善を



佐藤敬一郎 議員
さとう けいいちろう
花と泉の公園

農業委員会の改革・改善を

Q 委員の要望や意見が反映されない、民主的な議論ができないなどの指摘があり、改善が必要と考える。

A 運営は農業委員会法に基づいており、提案や要望は委員の間で十分討議をし、過半数の賛成で可決されている。

Q 中里市民センターの設計図面では、鉄筋量の増に加え現設計の柱では鉄筋間隔が狭いため、生コンが入らず強度や耐久性に影響が出ると思われる。今後の対応は。

A 鉄筋量は17.9トンの増となり、今後実施する修正設計において施工済みのくいを活用するものとし、部材厚や建物の重量など最適設計となるように対処する。スケジュールは修正設計に14カ月、建設工事は15カ月を見込んでおり、利用開始は令和9年4月ごろとなる。



早期完成が待たれる中里市民センター

その他のQ&A

虹の学園への支援を



単語帳

*9 鉱業権

鉱業法に基づき、一定の区域において、鉱物のある地層から石灰石などの鉱物を採掘し、取得できる権利。

*8 基金

特定目的や用途に充てるために、他の財産と区分して保有する資金。条例の定めに基づいて任意に創設できる。

*7 有機農業

化学肥料や農薬を使用しない、遺伝子組み換え技術を利用しない、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業。



大切にしたい 地域との関わり

いとう あい
伊藤陽偉さん (川崎町薄衣)

私は高校2年生ですが、NPO法人北上川サポート協会にも所属し、自然体験や環境保全活動に携わっています。そのおかげでさまざまな方と関わる機会があります。昨年、団体のイベントで郷土芸能の布佐神楽に触れました。その後、私も布佐神楽を学び今春には発表会にも参加しました。年上の皆さんに指導いただいております。「楽しい」「挑戦したい」という気持ちで地域に関わっていくことは、自分の進路や生活にも生かせると思います。議員の皆さんにも積極的に地域と関わっていただきたいと思っています。

市民の 声

日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
市民の声を聞きました

5人の子供を持つ 親として

やまくちゆう
山口雄さん (大東町摺沢)



5人の子を持つ私からみて、子育て世代への支援策は10年、20年前よりかなり充実してきていると感じます。ただ、教育現場を見ますと私の地域の東大小学校では、5年後には全校児童が100人を下回るという試算が示されています。また、中学校における地域部活動への移行、高校の再編計画による選択肢の減少、通学の問題など悩みは尽きません。前述の支援策と比較し、教育現場における人口減少への対応が地域の実情に伴っていない気がします。議員の皆さんにはフィールドワークや地域懇談会などを通じ、教育の向上につながる取り組みを期待します。

令和6年定例会 第112回8月臨時会議 ダイジェスト

令和6年定例会第112回8月臨時会議を8月5日に開催しました。議案2件の審議を行い、原案通り可決しました。

補正予算

可決

* 議案第48号 令和6年度一般会計補正予算(第3号)

一ノ関駅東西自由通路実現へ 調査委託料を計上

新規計上として一ノ関駅東西自由通路整備に係る基本計画調査委託料(12万円)と入札制度等改革本部事務費(141万円)を、増額計上として仮設会議室設置経費を加えた中里市民センター整備事業費(606万円)と摺沢地区こども園整備事業費(6,077万円)を盛り込んだ補正予算を可決しました。

可決

* 議案第49号 (仮称)国道343号渋民バイパス道の駅建設(建築)工事の請負契約の変更

厨房機器等設備工事の追加および木材の数量に不足を生じたことによる追加などにより、工事内容を変更し契約金額を変更するもの。

こんな質疑がありました

- Q. 中里市民センターの整備はゼロベースで基本設計からやり直したほうが利用開始が早くなるのではないかと。
- A. 部分的な設計の修正を重ねていく案と設計を一から見直す案を中心とし、他にも適切な案がないか検討していく。

令和6年度

市民と議員の懇談会

昨年度の様子



意見を
聞かせて!

実施団体を公募します

市民と議員の懇談会は、まちづくりの課題などについて話し合い、頂いたご意見を議会活動に反映させることを目的に毎年度実施しています。本年度は、懇談団体を公募し、広く市民の意見を伺うことにしました。皆さんからの申し込みをお待ちしています。

対象

- ① 自治会または行政区
- ② 地域協働体
- ③ その他(市議会議員の紹介により申込書を提出する団体。ただし、宗教団体、政治団体、その他広聴広報委員会が適当でないとする団体は除く)

申し込み方法

指定の申込書に記入の上、参加予定者名簿を添付し、市議会事務局に提出。

提出期間

令和6年11月1日～12月26日

提出方法

持参、郵送、電子メール

実施団体の選定

申し込みの中から8団体を上限に選定。

懇談会の開催時期

令和7年1月16日から2月7日までの期間で調整。

問い合わせ先

市議会事務局調査係 ☎0604

✉ gikai@city.ichinoseki.wate.jp

*詳しくは市議会ホームページを確認してください

特別委員会活動報告

農地現状変更等に関する調査特別委員会

石灰の砂や石で白く覆われた農地が市内で確認された問題について継続調査を行いました。議長に提出された「違法盛土農地が現状に至った原因と経過について、徹底究明を求めることについての請願書」を特別委で審査し、9月10日に全会一致で採択すべきものと決しました。



9月10日に実施した請願者を招いての委員会審査

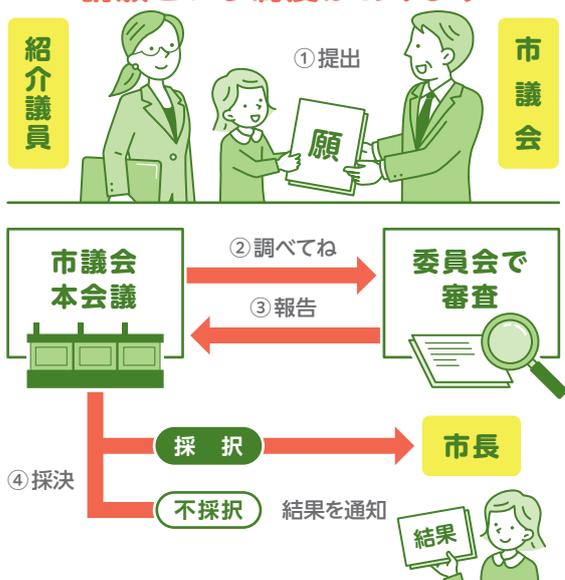
調査経過

期日	調査内容	委員(議員)からの主な意見など
8月2日 29日	東山地域で行われた住民説明会の内容についての確認。また、今回の事態に至った経緯や市および市農業委員会の責任の所在を確認。	○市側も責任を認めていることから、具体的な責任の取り方を示す必要がある。 ○協定集落や農業者個人のみへ交付金の返還を求めても、納得されないのではないかと。
9月6日 10日	請願の審査(紹介議員から請願趣旨の確認、請願者からの意見を聞き取り)。	○当特別委も原因の調査を旨として設置されたものであり、請願者の願意と一致している。
10月4日	国・県への返還金などに係る制度確認。	○市からの説明を確認。*内容の質疑は次回実施

議会にお願いを伝えるには?

みなさんは、まちづくりについて「こうしてほしい」「こうなったらいいな」と思ったことはありませんか。そういうときは「**請願**」という制度を利用して、お願いや意見を市議会へ伝えることができます。請願は市や国、県などに意見や希望を伝えるための制度で、憲法で定められている国民の権利の一つです。だれでも提出できますが、内容に賛同し、議会への橋渡しをする議員の紹介が必要です。市議会に提出された請願は、議員たちが内容をよく調べ、話し合い、認めたものは市の仕

請願という制度があります



事の中で進めるよう市長らに伝えます。

* 同じような制度に「陳情」があります。陳情は紹介議員を必要とせず直接議会に提出します。

11:01 79%

市議会NEWS

**議会モニターとの意見交換会
市民目線で議会を検証**

議会モニターと議員の意見交換会を10月2日に開催しました。議会モニターからは、「もっと踏み込んだ一般質問をしてほしい」「討論は賛成、反対の双方が必要」といった意見などがありました。意見交換を終え、門馬広聴広報委員長は「参考になった。議会としても研究していく」と述べました。意見交換会の様子は議会のホームページに掲載しています。

今号の COVER 室根神社特別大祭

国指定重要無形民俗文化財「室根神社祭のマツリバ行事」で知られる祭り。熊野本宮大社（和歌山県田辺市）から熊野神を分霊勧請した様子の再現で、1300年以上の歴史があるとされます。

イラストレーター：有華（市内在住）



待受画像
ダウンロード



編集後記

残暑厳しい中、開かれた9月議会でした。この議会だよりが発行になる頃にはいづらか涼くなっているのでしょうか。市議会では特別委員会が新たに二つ設置され、議員と市当局が真剣に向き合っております。広聴広報委員会では、他自治体のエキスパートからお話を伺ったり視察に出向いたりしながら、さらに良い広聴広報活動ができるように努力しています。今後ともよろしくお願いたします。(委員 菅原行奈)

広聴広報
委員会

[委員長] 門馬 功 [副委員長] 岩淵 優
[委員] 那須 勇 佐藤真由美 菅原 行奈
佐藤 幸淑 永澤 由利 猪股 晃